

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2283 号

The association between asthma and anxiety in elementary school students in Japan

日本の小学生における喘息と不安症状の関連

木村 真奈美 (きむら まなみ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、大規模疫学調査により日本の小学生における喘息と不安症状の関連を明らかにした臨床的に意義ある論文である。先行研究により小児における喘息と精神・心理学的症状との関連が報告されているが、アジア地域における同関連を検討した大規模調査のデータは十分でなく、本論文はアジアの小児における喘息と精神・心理学的症状の関連について医学的に有用な知見を与えたと考える。本調査は松山市全小学校児童を対象に実施した悉皆調査であり、少数集団を対象とした調査や標本調査と比較して、調査結果の信頼性が高いと考えられる。今回の調査の結果、特に小学校高学年男児において喘息と不安症状に有意な関連が認められた。論文中では、高学年男児において有意な関連が認められた理由を考察し、年齢が高い喘息罹患児は喘息による行動制限やストレスをより長期間経験していることを挙げている。また、今回の結果、喘息と不安症状、過体重に有意な相互作用は認められなかったものの、喘息と不安症状の関連は非過体重児においてより明らかであった。この結果から、過体重は喘息と不安症状の関連に対して潜在的な影響を与える可能性が示唆される。過体重が喘息と不安症状の関連に影響を与える可能性やその機序については今後さらなる検討が必要であるが、臨床的に重要な知見である。さらに、今回の調査で女兒においては喘息と不安症状の有意な関連は認められなかった。論文中では、喘息による行動制限は、男児に対してより強い心理的ストレスとなり、精神・心理状態に対してより強い悪影響を与えている可能性が言及されている。喘息と不安症状の関連には性差が存在するとの結果とそれに対する考察も、臨床的に重要な観点を示すものと考えられる。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。